

株式会社茨城県中央食肉公社

[法人の概要]

平成17年7月1日現在

代表者名	角田芳夫 (非常勤)	所管部(局)課	農林水産部畜産課	
所在地	東茨城郡茨城町下土師1975	電話番号	029-292-6811	
ホームページURL		E-mailアドレス	soumubu@abox23.so-net.ne.jp	
資本金	1,900,550 千円	設立年月日	昭和54年2月7日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	茨城県	538,320 千円	28.3 %
	2	独立行政法人農畜産業振興機構	340,000 千円	17.9 %
	3	全国農業協同組合連合会	282,680 千円	14.9 %
	4	茨城県北鹿行食肉協同組合	170,170 千円	9.0 %
	5	茨城県信用農業協同組合連合会	56,720 千円	3.0 %
	その他	68 団体	512,660 千円	27.0 %
設立的	昭和40年代後半、本県の畜産は急速に発展するが、県北鹿行地域における食肉処理施設(当時7ヶ所)は、小規模で老朽化しており、公害防止施設の不備や経営上の問題を抱えていたため、生産流通面から抜本的な対策が求められていた。昭和51年に「調査委員会」を発足し、施設の機能規模、用地取得及び事業主体について協議検討した結果、農振法第9条に基づく広域営農団地関連施設計画の「総合食肉流通施設整備促進事業」に対応した基幹的な総合食肉流通施設の設置運営を図ることとなり、昭和54年2月に国、県、関係市町村、農業団体、食肉業界の出資による第三セクターの会社として、食肉の流通合理化及び食肉取引の近代化に寄与することを目的に設立した。			

[事業の概要]

事業名	平成17年度事業費	内容
事業1 と畜解体部門	千円 売上高 613,399 営業費用 432,805 経常利益 180,861	生産者の委託を受け、肉畜のと畜解体業務を行っている。
事業2 食肉市場卸売部門	千円 売上高 1,873,818 営業費用 1,759,555 経常利益 114,688	食肉市場の開設及び卸売業務を行っている。
事業3 加工販売部門	千円 売上高 1,972,485 営業費用 1,997,735 経常利益 △25,250	部分肉処理加工の受託、販売業務を行っている。

[組織]

年度	7月1日現在の人数	平成15年			平成16年			平成17年		
		県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB	
役員	常勤取締役	3	0	1	2	0	1	2	0	1
	非常勤取締役	16	3	0	16	3	0	16	3	0
	常勤監査役	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	非常勤監査役	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	計	22	3	2	21	3	2	21	3	2
職員	管理職	18	0	0	20	0	0	23	0	0
	一般職	54	0	0	55	0	0	51	0	0
	臨時職員	11	0	0	13	0	0	11	0	0
	嘱託職員	12	0	0	12	0	0	15	0	0
	計	95	0	0	100	0	0	100	0	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	9	16	20	29	74	43歳 2月	18年 3月			

[収支の状況]

株式会社茨城県中央食肉公社

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
収 支 の 状 況	売上高	4,073,791	4,213,814	4,671,994
	売上原価	3,880,720	4,010,802	4,441,384
	売上総利益	193,071	203,012	230,610
	販売費及び一般管理費	212,309	197,886	207,864
	うち管理費	146,387	133,018	143,830
	うち人件費	65,922	64,868	64,034
	営業利益	-19,238	5,126	22,746
	営業外収益	51,626	59,136	49,731
	営業外費用	7,238	7,773	9,392
	経常利益	25,150	56,489	63,085
	特別利益	998	0	39,613
	特別損失	0	99	1,877
	税引前当期純利益	26,148	56,390	100,821
	法人税、住民税、事業税	15,886	28,087	29,781
	当期純利益	10,262	28,303	71,040
	前期繰越金	-1,008,320	-998,058	-969,755
	当期末処分利益	-998,058	-969,755	-898,715
	利益処分・損失補填額	0	0	0
	次期繰越金	-998,058	-969,755	-898,715
財 産 の 状 況	資産	2,316,242	2,204,790	2,389,905
	流動資産	1,195,987	1,082,038	1,284,141
	固定資産	1,120,255	1,122,752	1,105,764
	繰延資産	0	0	0
	負債	1,413,751	1,273,996	1,388,071
	流動負債	1,030,073	839,755	886,192
	うち短期借入金	809,568	600,000	600,000
	固定負債	383,678	434,241	501,879
	うち長期借入金	0	0	0
	資本	902,491	930,794	1,001,834

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
財 的 関 与 状 況	補助金	0	2,000	2,479
	委託金	0	0	0
	貸付金	600,000	600,000	600,000
	計	600,000	602,000	602,479
	財政的関与の割合(%)	0%	0%	0%
	損失補償・債務保証			

[平成16年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	飼養管理情報付き常陸牛を消費者に提供して、安心・安全な牛肉であることを示し銘柄の推進を図った。また、常陸牛が市場で高い評価を得て、生産者の収益性の向上につながる事ができた。
委託金	
貸付金	当社の健全な運営を図り、本県食肉流通の改善合理化に資するため、市場運営に要する運転資金に畜産振興資金を利用したことにより、資金繰りが確保できた。

[評価総括]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	4	3	10	30.0%
組織運営の適正性	4	5	8	62.5%
健全性	10	24	36	66.7%
効率性	6	12	24	50.0%
合計	28	52	86	60.5%

企業会計用

株式会社茨城県中央食肉公社

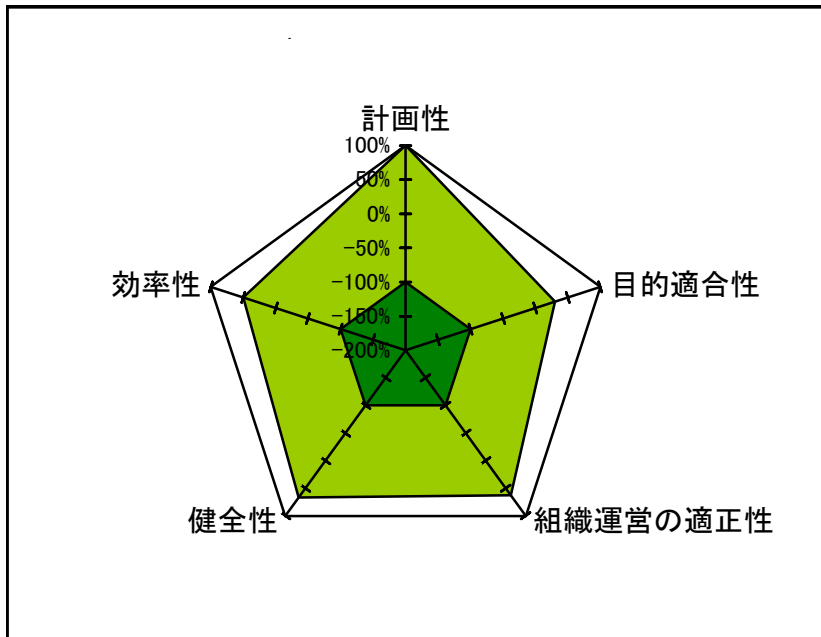
警戒指標

--

《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照



[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
平成15年2月に策定した第3次経営改善5ヶ年計画を基本に、部分肉加工施設の誘致(平成18年2月)を進めており、日量300頭/日の増頭を計画している。また、毎月の経営会議において、部門ごとに進捗状況をチェックし改善策を講じ、単年度黒字の継続に努め累積欠損金の縮小に努めている。	食肉流通の合理化及び食肉取引の近代化に寄与するという設立目的に沿った事業展開をしているが、さらに取扱頭数の確保に努める。	平成16年度に新規採用(4名)をしたが、40代以上が6割を超えており(平均年齢43歳)理想的な年代構成になっておらず、退職者の補充を基本に新規採用を行っていききたい。	当期純利益は9年連続統計上し、毎年累積欠損金は減少しているものの、898百万円残っている。このため取扱頭数の確保、コストの削減、収益性の向上を図り、自己資本比率を高める。	売上高に比べ、経常利益が低く、利益率の低い構造になっているので、平成17年度下期から自家用手数料を新設する等利益率の向上を図る。
今後の事業展開の方向	<p>今後の事業展開の方向としては、</p> <p>①事業量拡大の推進 出荷団体・生産者への情報提供と集荷巡回、情報収集と大口買参人の確保等による営業活動を強化する他部分肉加工施設の円滑な受入体制を整備し、事業量の拡大を図る。</p> <p>②施設の整備 施設整備計画に基づき、冷蔵庫の増設、汚水処理施設の整備等計画的な改修・更新を行う。</p> <p>③品質・衛生管理の徹底 枝肉・部分肉の衛生標準手順(SSOP)に沿った作業体制確立と技術の向上を図り、衛生的で品質の高い食肉流通に努める。</p>			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
第3次経営改善5カ年計画をもとに計画性をもって経営改善に努めていると考える。	本県の食肉流通の基幹的施設として、安全な食肉の供給に努めている。取引先のニーズを把握し、取扱量を増やすよう努力している。	新規採用を行い、年代構成の適正化に努めた。また、効率的な組織運営を図るため、適切な人材配置や部門相互の連携強化に努めている。	9年連続で単年度収支はプラスとなっており、累積欠損金の圧縮に努めている。	職員のコスト意識の向上や出荷奨励金支払率引き下げ、内蔵販売単価の値上げなど増収に努めている。
第三次行財政改革大綱に係る取組状況	推進事項		取組み状況	
	経営の健全性に向けた事業展開等「経営改善5カ年計画(平成15年度～19年度)」に基づき、部分肉取扱量の拡大と畜頭数及び市場取り扱い量の拡大、と畜解体料金等の見直し、経費の削減等を実施し、経営の健全性・累積欠損金の削減に努めます。		部分肉加工施設の誘致を図るなど、と畜頭数及び市場取り扱い量の拡大に努めている。また、職員のコスト意識の向上や出荷奨励金支払率の引き下げなど、経費削減や利益率の向上に努めており、累積欠損金も着実に減少している。	
法人担当課の意見	コスト縮減や取扱量の拡大に努め、経営改善5カ年計画を着実に実行しているものと考え。今後とも、茨城県における基幹と畜場として、高度な衛生基準をクリアした安全・安心な食肉の供給など時代のニーズに即したと畜機能の充実・強化に努める必要がある。			

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div>
	<p>部分肉処理加工施設の誘致を図るなど、と畜頭数及び市場取扱量の拡大に努め、また出荷奨励金支払率の引き下げや内蔵販売単価の値上げによる増収に努めるなど、累積欠損金の着実な解消を目指し、9期連続単年度収支黒字としたことについては評価できる。</p> <p>今後は、検査体制に対する県の協力体制を整備し、更なる取扱い頭数の拡大に努める必要がある。</p> <p>なお、取扱い頭数の拡大に対応した施設の新設・改修や、数年後に見込まれる施設の大規模改築が、当社の大きな経営課題となることから、施設整備にあたっては、公設民営方式なども含め、健全経営に向けた効果的な経営手法について、県等と協議する必要がある。</p>
総合的所見等に係る対応	<p>今年度中に、新たに他社の部分肉処理加工施設が完成することにより、1日当りのと畜頭数も増加する見込みであることから、増頭に応じた施設整備や検査体制の整備ができるよう支援していく。</p> <p>また、今後、施設整備による経費増が予想されることから、さらなると畜頭数の拡大、業務の効率化を進め、経営の健全化に努めるよう指導していく。</p>

< 株式会社茨城県中央食肉公社 から県民のみなさまへ >

弊社は県内で唯一、と畜処理から部分肉処理加工、市場運営までを行う総合的な食肉センターとして、昭和56年から操業を開始し、現在、県内で最大の処理実績となっております。今後とも、消費者の皆様へ安全・安心な食肉をお届けするため、衛生的で品質の高い食肉を供給できる体制を整備するとともに、魅力ある食肉市場作りに努めて参ります。

平成18年2月 代表取締役社長 角田 芳夫